

# 1 / 2号機排気筒 東側の臨時点検について

## 点検概要

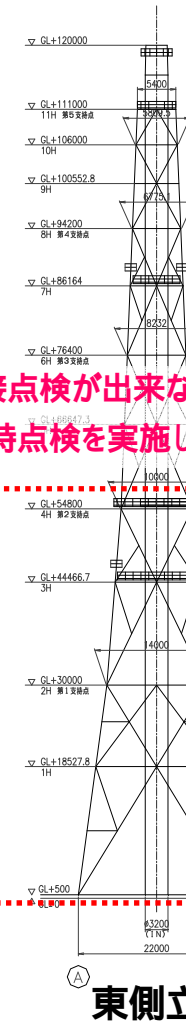
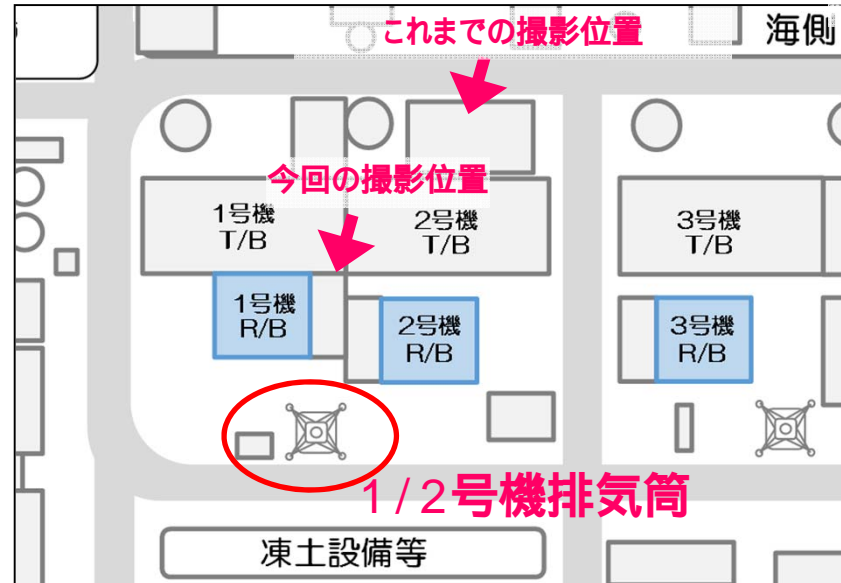
1/2号機排気筒のこれまでの点検は、線量が低いエリアからの写真撮影及び画像分析により実施しており、東側の約50m以下の部材については、タービン建屋との干渉により詳細な点検が出来ていなかった。作業環境の改善によりタービン建屋屋上からの点検が可能となったため、東面の約50m以下の臨時点検を実施した。

## 点検内容

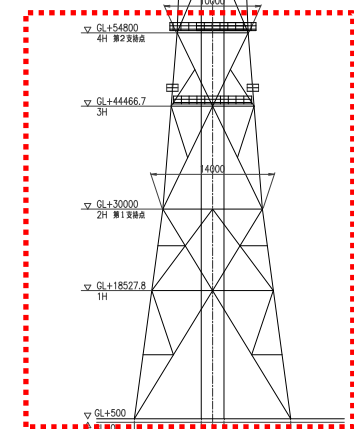
1 / 2号機タービン建屋屋上から望遠カメラを使用し、排気筒の東面を撮影

## 点検実施日

2017年4月6日



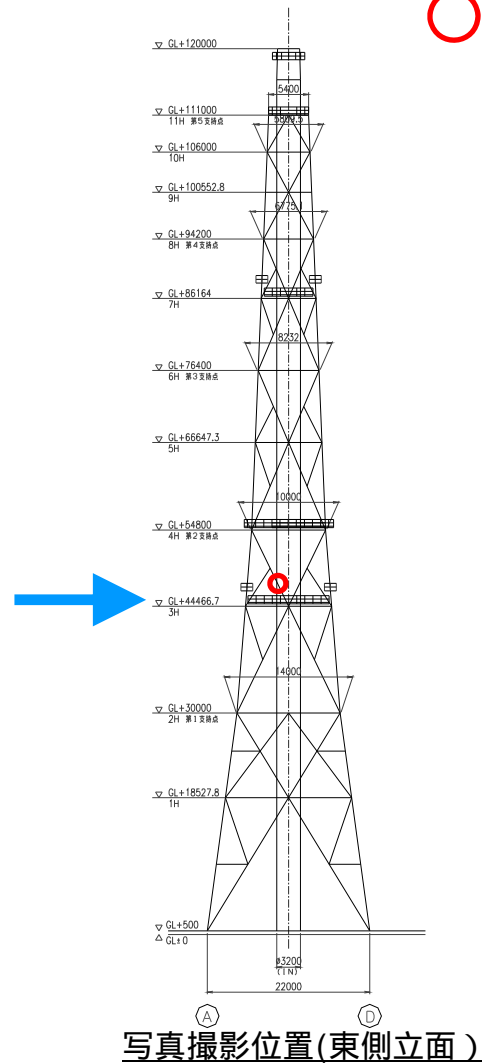
これまで直接点検が出来なかった範囲  
(今回臨時点検を実施した範囲)



# 臨時点検の結果

点検の結果、東側45m付近の斜材の1箇所にて、破断箇所を確認した。

○:破断箇所 GL+45m(O.P.+55m) 付近の斜材接合部

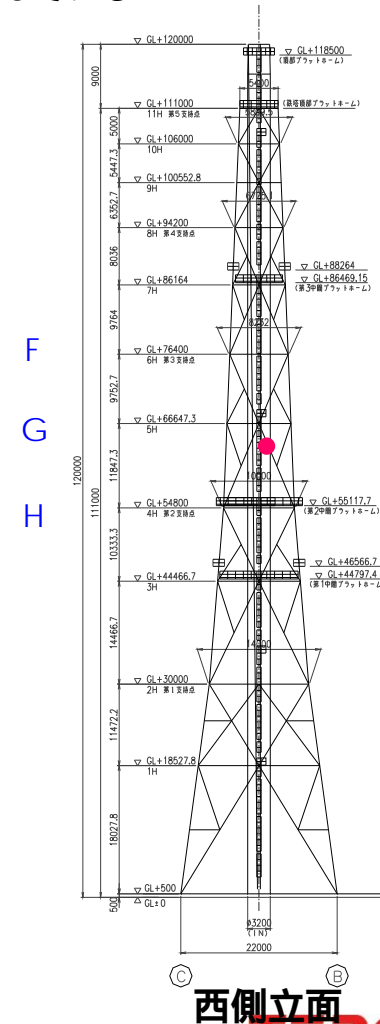
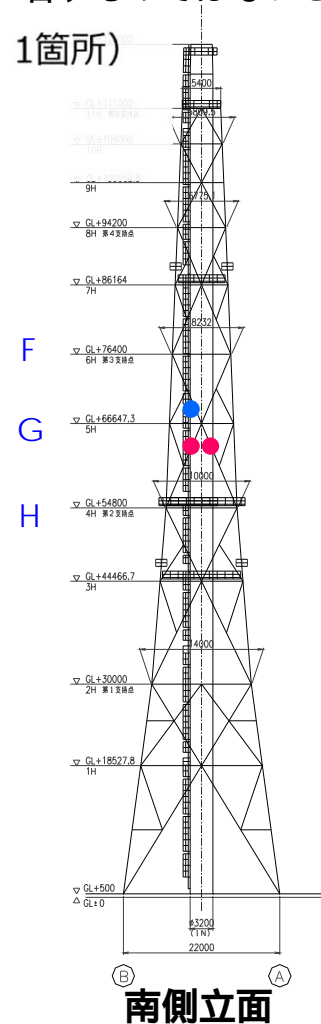
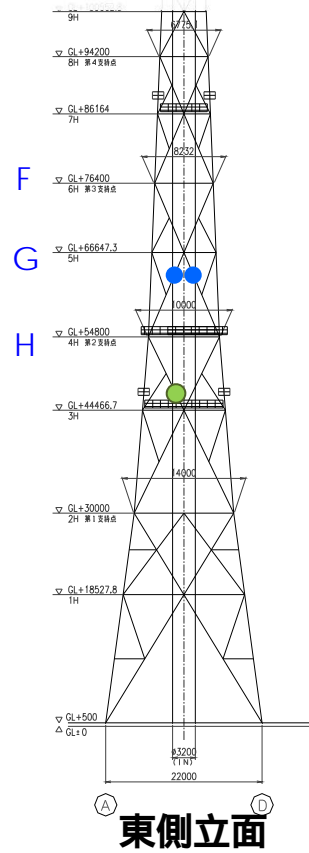
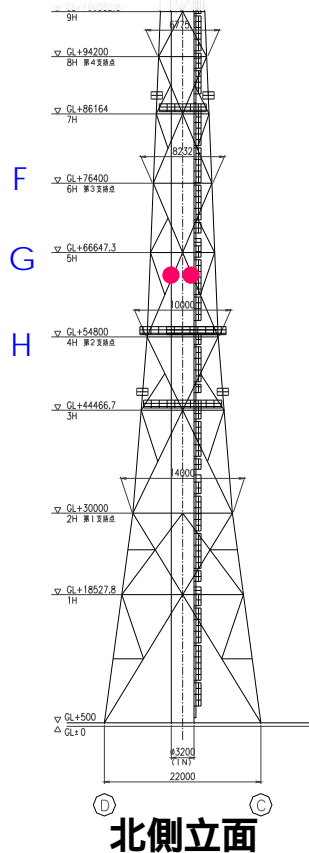


東側(GL+45m付近)

# 耐震安全性への影響

- 今回新たに確認された、東側45m付近の破断箇所は1箇所に留まっており、先に損傷が集中して確認された66m付近から約20m下の部材であることや、45m付近の東面を除く3面（北面、西面、南面）には損傷が無いことから、排気筒全体の倒壊危険性が増すものではないと推定している

- 破断箇所：5箇所（北面：2箇所 南面：2箇所 西面：1箇所）
- 変形箇所：3箇所（東面：2箇所 南面：1箇所）
- 今回確認した破断箇所：1箇所（東面：1箇所）



## (参考) 過去の年次点検の実施概要

### 点検方法

#### 1. 現地調査

地上から望遠カメラを使用し、排気筒の各方向から撮影を実施

#### 2. 画像分析

撮影した写真を初回点検時（2013年8月）の写真

と比較し、点検個所の有意な変化の有無を確認

### 使用機材

デジタル一眼レフカメラ（三脚使用）

望遠レンズ（75mm～200mm，200mm～400mm）

### 点検実績

2013年8月～2016年9月にかけて4回実施

### 点検結果

これまでの点検では、初回点検時に確認された変形・破断箇所(次頁)以外に新たな損傷等は確認されていない。



# (参考) 2013年8月点検時破断箇所

- 破断箇所：5箇所（北面：2箇所 南面：2箇所 西面：1箇所）
  - 変形箇所：3箇所（東面：2箇所 南面：1箇所）
- いずれもGL+66m（O.P.+76m）付近の斜材接合部

